

子どもと先生のための20の質問

これらの質問のうち、いくつかについては、すでに答えを知っているかもしれません。また、分からない質問は、先生に聞いたり、インターネットで調べたりして、答えを見つけましょう。

1. 湿地とはなんでしょう。
2. 湿地の種類を3つ挙げましょう。
3. いちばん近所にある湿地を挙げましょう。
4. その湿地に住んでいる動物や、生えている植物の名前を3つ挙げましょう。
5. ラムサール条約は、湿地を守るための、政府の間の条約です。なぜラムサールという名前が付いているのでしょうか。
6. あなたの国（日本）は、ラムサール条約に参加しているのでしょうか。
7. あなたの国（日本）にあるラムサール条約湿地をひとつ挙げましょう。そして、どうしてその湿地が国際的に重要なのか、説明しましょう。
8. 世界で一番長い川はどの川でしょうか。
9. 世界で一番多くの水が流れている川はどの川でしょうか。
10. あなたの国（日本）で一番長い川はどの川でしょうか。
11. 日本で一番長い川が、どのように人々に利用されているか、3つ挙げましょう。
12. 近所にある川が汚れる原因を、3つ挙げましょう。
13. あなたの国（日本）で一番大きな湖はどの湖でしょうか。
14. 日本で一番大きな湖が、どのように人々に利用されているか、3つ挙げましょう。
15. 世界で一番大きな湖はどの湖でしょうか。
16. 河川流域とはなんでしょう。
17. あなたは、どの河川流域に住んでいるのでしょうか。
18. あなたが飲んでいる水はどこから来たものなのでしょうか。どの川？湖？貯水池？地下水層？
19. あなたの住んでいる町に雨水管があれば、その中の水はどうなるのでしょうか。どこに行くのでしょうか。
20. 湿地の管理において、「利害関係者」という言葉がしばしば出てきます。これは、ある特定の湿地に起きることによって、何らかの利益又は被害をこうむる個人、団体、機関です。湿地を利用する人々（おそらく、湿地の水や、湿地に生息・生育する動植物を利用する人々）、野生生物を観察したい人々、湿地の管理責任者、これらは全

て湿地の利害関係者です。そして湿地の管理は、漁師、農家、観光客、住民、工場主など、利害関係者が全て参加した場合に、最もうまく行くのです。

下の絵を見てみましょう。これは、利害関係者が、湿地の管理をどう行うか、集まって決めようとしているところです。テーブルの周りに座っている人物(と牛)が、それぞれどのような利害関係者を表しているのか、考えてみましょう(牛から時計回りに、リストを作りましょう)。



家庭又は学校で行うこと

先生に、地元の湿地への見学を手配してもらえよう、お願いしてみましょう。地元の湿地がどのように使われていて、そこにどのような野生生物がいるのか、調べるためです。見た野生生物について文章を書いたり、絵を描いたりしましょう。

あなたの住んでいる河川流域に、何人の人が住んでいるのか調べましょう。

あなたの村、町、国などにおいて、一人あたり平均どれほどの水を家庭で使っているのか、調べましょう。

あなたの住んでいる河川流域の地図を見て、流域内の湿地がどのように水文学的につながっているのか、調べましょう。